



平成28年7月27日
海上保安庁

「海洋環境保全推進月間」における活動について ～「海と日本プロジェクト」で初成果～

本年の「海洋環境保全推進月間」では、海洋環境保全教室等の各活動の開催実績が過去5年間で最多になりました。（※別添資料のとおり）

特に、日本財団と連携した「海と日本プロジェクト」の一環として行った海岸清掃活動等では、約3,600袋ものごみを収集・分類（目標は1,000袋）したことで、身近なごみが海洋環境に与える影響について理解が促進されました。

今後も、多くの方に参加していただける機会を増やし、海洋環境保全思想のより一層の普及を図るべく、同プロジェクトとの連携を強化し、活動を推進してまいります。



「海と日本プロジェクト」は、昨年、20回目を迎えた「海の日」を記念して創設されました。日本財団のサポートにより政府機関、民間法人、大学等が連携・推進し、全国で海ごみの回収、帆船や客船を利用した学びの場の提供等が行われています。



「海と日本プロジェクト」と連携した海岸清掃活動等は、22都道府県35海岸等で、5,392人の参加により3,605袋のごみを収集・分類しました。

「海と日本プロジェクト」連携活動について

<活動概要>

○海岸清掃活動

海岸をきれいにするとともに、次に控える漂着ごみ分類調査を実施するため、参加者全員で海岸にあるごみを収集しました。

(右写真：6月22日(水)岩手県にて)



○海底清掃活動

海岸は波に流され漂着する比較的軽いごみが多いですが、重いごみは流れずに海底に蓄積されます。それらのごみを収集し海底をきれいにしました。(左写真：6月15日静岡県にて)

○漂着ごみ分類調査

海岸等で収集したごみをその場で分類調査することで、参加者に現状を把握してもらうとともに、ごみの由来について考えてもらいました。

(右写真：6月11日鹿児島県にて)



○海洋環境保全教室

漂着ごみ分類調査の結果を踏まえ、海洋ごみ問題を再提起するとともに、海洋環境保全の重要性を訴えました。

また、園児など小さい子供たちには紙芝居などを用いて、ごみがもたらす海への影響について話しました。(左写真：6月4日神奈川県にて)

< 「海と日本プロジェクト」と連携した海岸等清掃活動 >

	実施日	都道府県	参加団体等	備考(イベント名等)
1	6月5日	北海道	稚内市、一般市民	クリーンアップわっかない「坂の下海岸クリーン作戦」
2	6月5日	北海道	根室ローターアクトクラブ、根室海洋少年団	根室市春国岱海岸清掃
3	6月14日	青森県	鱒ヶ沢町立舞戸小学校、自然保護官事務所、自治体	七里長浜公園
4	6月6日	岩手県	岩手県洋野町立種市小学校	種市漁港北側海岸
5	6月22日	岩手県	宮古市立高浜小学校	金浜海岸
6	6月7日	秋田県	男鹿市立北陽小学校、環境省東北地方環境事務所	在戸賀海水浴場
7	6月3日	山形県	酒田市立浜中小学校、山形県庄内総合支庁、酒田市市民部、環境省東北地方環境事務所、海上保安協力員	浜中あさり海水浴場
8	6月19日	千葉県	地元自治体、海洋少年団	木更津港内港
9	6月26日	千葉県	ボーイスカウト、千葉県連盟、日本海洋少年団、千葉市連盟	いなげの浜
10	6月11日	東京都	Kissポート財団、お台場周辺企業、港区民	東京ベイクリーンアップ大作戦
11	6月4日	神奈川県	湘南学園中学校・高校、地元ダイビングセンター、地元団体(海さくら)、海をつくる会	ワールドオーシャンズデイ湘南2016
12	6月4日	新潟県	NPO法人上越プラネット、直江津中学校、地元自治体	早朝海岸清掃で環境保全チャレンジ
13	6月3日	石川県	珠洲市立三崎小学校	みさき小学校前海岸
14	6月5日	石川県	鶴浦町子ども会児童、子供会保護者、崎山公民館職員等	観音島周辺
15	6月5日	静岡県	NPO法人伊豆未来塾、伊豆漁業協同組合、伊豆漁業協同組合南伊豆支所青年部	南伊豆2016海清掃 波勝崎
16	6月10日	静岡県	地元幼稚園	マリパーク御前崎西ビーチ
17	6月14日	静岡県	伊東市観光課、伊東市ダイバーズ協議会会員等	伊東オレンジビーチ海中清掃
18	6月15日	静岡県	日本釣振興会、いとう漁協八幡野支所	八幡野ダイビングサービスビーチクリーンアップ
19	6月18日	静岡県	須崎ダイビングセンター	第13回須崎海底清掃
20	6月19日	静岡県	地元NPO団体、ボランティア	南伊豆の海掃除2016
21	6月5日	愛知県	木曾三川ごみの会主催、民間企業、関係各団体	木曾三川ごみの会定期清掃活動
22	6月18日	三重県	環境省主催漂着ごみ清掃	自然体験プログラム、海岸の漂着ごみ清掃
23	6月26日	三重県	環境省主催漂着ごみ清掃	自然体験プログラム、海岸の漂着ごみ清掃
24	6月26日	京都府	福井・京都地区スキューバダイビング安全対策協議会(DSCC)	市内海岸
25	6月26日	広島県	竹原市、竹原市近隣企業・学校	リフレッシュ瀬戸内統一行動
26	6月12日	香川県	ちちぶの会(ボランティア団体)	父母ヶ浜清掃活動(ボランティア団体ちちぶの会)
27	6月25日	香川県	海上保安友の会香川支部	長崎の鼻海浜清掃
28	6月25日	愛媛県	イサナダイビングクラブ	西海ビーチクリーン(漂着ごみ分類調査)
29	6月5日	福岡県	われら海岸探偵団	妙見崎海岸
30	6月9日	佐賀県	唐津市内幼稚園児	東の浜海岸
31	6月17日	宮崎県	大堂津小学校	海浜清掃及び漂着ごみ分類調査
32	6月3日	鹿児島県	鹿児島県、鹿児島市、鹿児島市教育委員会、鹿児島市内小学校・中学校、磯町内会	磯海水浴場清掃
33	6月8日	鹿児島県	南九州市立松ヶ浦小学校、知覧町うみがめ保護研究会、南九州市	海浜清掃及び漂着ごみ分類調査
34	6月11日	鹿児島県	龍郷町立円小学校	海浜清掃及び漂着ごみ分類調査
35	6月4日	沖縄県	地元自治体、小中高、専門学校、企業、ボランティア団体、一般参加者	まるごと沖縄クリーンビーチ2016

「海洋環境保全推進月間」の活動について

「海と日本プロジェクト」と連携した漂着ごみ分類調査や海洋環境保全教室を含む活動実績です。重点項目は、「海事・漁業関係者による油類の排出、廃棄物の不法投棄による海洋汚染の未然防止」となっています。

< 確報値 >

- 海洋環境保全講習会 56 回（参加人数：1,456 人）
- 訪船指導 3,017 隻
- 訪問指導 1,125 ケ所
- 海洋環境保全教室 165 回（参加人数：10,358 人）
- 漂着ごみ分類調査 37 回（参加人数：4,415 人）

< 5 年間の推移 >



過去5年間における実績の比較によれば、海事・漁業関係者への海洋環境保全講習会、漁船や貨物船を訪問しての直接指導の機会が増加し、重点項目に対し一定の成果が上がったものと考えています。



一般市民に対する海岸清掃活動をきっかけとした海洋環境保全教室や漂着ごみ分類調査についても、回数が大幅に増加しました。

今後も講習会等の機会を増加させるとともに、一般市民に対する海洋環境保全思想のより一層の普及につなげてまいります。

<主な活動事例>

○海洋環境保全講習会（第八管区 舞鶴海上保安部宮津海上保安署）

宮津海上保安署管内において、これから漁師を目指す方に対し海洋環境保全推進月間の趣旨説明、油や廃棄物の不法投棄防止についての指導を実施しました。

【海洋環境保全講習会】海事・漁業関係者を対象とする講習会で、海上環境関係法令の遵守を指導するとともに、当庁の取組み状況及び海洋汚染の現状等を受講者に周知し、人為的要因により発生する海洋汚染の根絶を図ることを目的としています。



○訪船指導（第四管区 四日市海上保安部 巡視艇いせぎく）

四日市海上保安部管内に停泊中の貨物船を訪船し、油類取扱い作業時のバルブ操作ミスによる漏油事故防止、ビルジ（油性混合物）等の適正処理について指導を実施しました。

【訪船指導】海上保安官が船船を訪問し、海上環境関係法令の遵守、船舶からの油や廃棄物の不法投棄防止を指導するもので、機械に精通した海上保安官が立会い、実際に操作手順や機械の運転状況の確認も行っています。



○訪問指導（第六管区 尾道海上保安部福山海上保安署）

福山海上保安署管内のマリーナ等を訪問し、海上環境関係法令の遵守と油や廃棄物の不法投棄防止に関する指導を実施するとともに、「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」入賞作品を用いて作成した海洋環境保全啓発用ポスターを配布し、海洋環境保全思想の普及啓発を広く呼びかけました。

【訪問指導】海上保安官が海だけでなく、陸上にある事業所等を巡回、訪問し海事関係者に対して海洋環境保全指導・啓発活動を実施するものです。



○小学生に対する海洋環境保全教室（第九管区 七尾海上保安部）

石川県七尾市内の小学校において、海洋環境保全の重要性を学び海洋環境保全思想の普及啓発を図る「海洋環境保全教室」を実施しました。

【海洋環境保全教室】若年層を含む一般市民を対象に実施するもので、分かり易い海洋環境保全に関するお話や簡易水質分析具を使用した模擬検査等を行っています。



○園児に対する海洋環境保全教室（第五管区 徳島海上保安部美波分室）

徳島県海部郡美波町の認定こども園において紙芝居を用いた「海洋環境保全教室」を実施しました。

使用された紙芝居は、美波町の大浜海岸に上陸するウミガメのエピソードを基に、平成4年現役の海上保安官が作成した「うみがめマリンの大冒険」という作品です。

【紙芝居の上演】今では珍しく懐かしいものですが、分かり易い内容で、海上保安官の読み聞かせも人気があり、若年齢層に対する海洋環境保全啓発活動には欠かせないアイテムとなっています。



○教職員に対する海洋環境保全教室（第一管区海上保安本部）

海洋環境保全教室などの機会を捉えて海上保安官、海上保安協力員等のボランティアが協力し、将来を担う子供達を対象に海洋環境保全啓発活動を実施していますが、さらに広く児童、生徒に対し海洋環境保全思想の普及啓発を図るため、学校の教職員に対し、啓発活動への協力を依頼しました。



○漂着ごみ分類調査（第二管区 酒田海上保安部）

山形県酒田市内の小学生や地方公共団体等関係機関、海上保安協力員等と協力して「漂着ごみ分類調査」を実施しました。

※漂着ごみ分類調査の実施結果は、（一社）JEANを
経由して米国環境NGO オーシャン・コンサーバンス
ーへ送付され、地球規模で海ごみ問題を解決するた
めの基礎資料となっています。



○環境パネル展示による海洋環境保全啓発活動（第十一管区海上保安本部）

沖縄県国頭郡の水族館において、海洋汚染の状況の写真や「未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」入賞作品を用いて作成した海洋環境保全啓発用ポスター等を展示する「環境パネル展」を開催し、多くの来訪者の方に、海洋環境保全の重要性を発信しました。

【環境パネル展示】油や廃棄物による海洋汚染の状況の写真や漂着ごみの展示、海洋環境保全への取り組みを紹介するパネル等を多くの方が訪れる施設に展示し、広く海洋環境保全の重要性を発信する活動を実施しています。

